

VMware vCenter Server

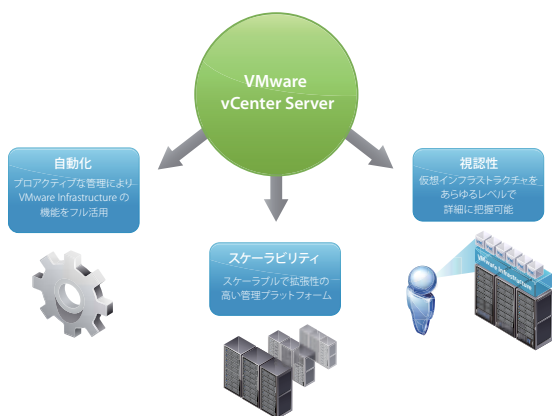
仮想化管理の統合および簡素化

概要

VMware® vCenter Server は、仮想化をプロアクティブに管理し、仮想インフラストラクチャを詳細に確認するための、拡張性の高いプラットフォームを提供します。VMware vCenter Server は、vSphere 環境の統合管理、定常作業の簡素化、および環境全体の管理の大幅な向上を実現します。

メリット

- vSphere とその基盤インフラストラクチャの状態を詳細に確認できるため、問題を迅速に分析して解決できます。
- 迅速なプロビジョニング、仮想マシンのワークロードの自動ロード バランシング、およびすぐに利用可能な自動化ワークフローにより、vSphere 環境をプロアクティブに管理することで、IT 部門の即応性を向上します。
- 最大 10,000 台の仮想マシンをサポートしており、最も要求の厳しい企業環境のニーズを満たすように拡張できます。



VMware vCenter Server はお客様の VMware vSphere 環境に、自動化、スケーラビリティ、および視認性を提供します。

VMware vCenter Server について

VMware vCenter Server は、VMware vSphere 環境を管理するための汎用のハブとして機能します。vCenter Server は、1つのコンソールから、データセンター内のすべてのホストと仮想マシンを統合管理します。vCenter Server を使用すると、管理者は制御の向上、定常作業の簡素化、および IT 環境の管理における複雑さとコストを低減できます。

VMware vCenter Server の企業での活用

VMware vCenter Server は、拡張性の高い仮想化管理プラットフォームを提供します。VMware vCenter Server を使用すると、IT 部門では次のことが可能になります。

- **統合管理。** vCenter Server により、IT 部門は IT 環境全体の編成、迅速なプロビジョニング、構成を単一のインターフェイスで実行できるため、運用コストを削減できます。重要なすべてのコンポーネント (CPU、メモリ、ストレージ、ネットワークなど) のパフォーマンスを、一貫して詳細に監視することで、管理者が必要とする詳細な情報が提供されます。
- **操作の自動化。** タスクのスケジューリングおよびアラート設定により、ビジネス ニーズへのレスポンスが向上し、緊急な対応を必要とするアクションが優先されます。
- **安全なアクセス コントロール。** 堅牢な認証メカニズム、および Microsoft® Active Directory との連携により、IT 環境および仮想マシンに対してアクセス管理が行われます。これにより、管理責任をそれぞれの階層のシステム管理者に委ねることができます。
- **可用性とリソースの管理。** VMware vCenter Server では、管理者が VMware vMotion、Storage vMotion、VMware High Availability (HA)、および Fault Tolerance を構成および管理できます。
- **セキュリティレベルの向上。** VMware Update Manager を使用してパッチ基準の自動適用を実現し、組織の仮想インフラストラクチャを脆弱性から保護します。
- **エネルギー効率の自動化。** VMware DPM (Distributed Power Management) を使用して電力の消費量を削減し、環境に配慮したグリーン データ センターを実現します。

VMware vCenter Server の仕組み

VMware vCenter Server プラットフォームにはいくつかの主要コンポーネントが含まれており、これらが連携して拡張性の高い仮想管理ハブとして動作します。管理サーバは、インベントリとパフォーマンス情報を格納するデータベースを備えており、ホストと仮想マシンを統合管理するための窓口になります。vCenter Agent は、ホストと管理サーバを接続します。

管理者は vSphere Client を使用して、任意の Windows PC から vCenter Server にアクセスできます。あるいは任意の Web ブラウザから vCenter Web Access ポータルを使用して vCenter Server にリモートアクセスします。

ロールと権限は管理サーバ間でレプリケーションされるため、管理者は複数の vCenter Server を 1 つのコンソールから管理できます。また、検索エンジンにより、企業内にある仮想マシン、ホスト、およびその他のインベントリオブジェクトを迅速に検索できます。

VMware vCenter Server の主な機能

仮想インフラストラクチャのあらゆるレベルで統合管理と詳細の確認が可能

- 動的な仮要素をリアルタイムに監視。** vCenter Server は、サーバ ハードウェア、共有ストレージ、ネットワークなど、すべての仮要素および関連する物理コンポーネントを認識します。また、イベントおよびアラーム トリガにより、環境の監視と、問題の診断およびトラブルシューティングが容易になります。管理者は、物理サーバ、仮想マシン、ネットワーク、およびストレージの相互関係を動的トポロジー マップによって視覚的に表示して、vSphere の構成が正しいことを確認できます。vCenter Server では、仮想マシン、およびリソース プールなどの仮要素のパフォーマンスと可用性を詳細な統計情報とグラフによって監視し、それらをリアルタイムに表示できます。
- カスタマイズ可能なアラーム トリガ。** vCenter Server は自動的に通知やアラートを生成し、自動化されたワークフローを起動して問題を解決および事前回避します。
- ナビゲーションとインベントリ検索の簡素化。** グローバル検索機能を使用すると、vCenter Server 内のどこからでも仮想マシン、ホスト、データストア、ネットワークなど、複数の vCenter Server のインベントリ全体にアクセスできます。また、ユーザー インターフェイスの向上により、簡単にナビゲーションを実行できます。

VMware vSphere のプロアクティブな管理

- 迅速なプロビジョニングとパッチ管理の簡素化。** ウィザードまたはテンプレートを使用して、新しい仮想マシンやホストを数分で作成できます。標準の構成を使用することで、エラーとダウンタイムを最小に抑制します。vCenter Update Manager を

使用すると、仮想マシンとホストにパッチを簡単に適用でき、ホスト プロファイル機能を使用してホストの構成を標準化および検証できます。

- 動的なリソース割り当てによる SLA の確保。** vCenter Server は、VMware DRS を使用してリソース プール間の使用率を常に監視します。VMware DRS はダウンタイムの発生や、SLA (サービス レベル アグリーメント) への影響なしで、仮想マシンをホスト間でインテリジェントに移行します。その結果、自動管理および最適化が行われ、効率的な、ロード バランシング組み込みの IT 環境を実現します。リソース プール内の仮想マシンが必要としない余剰キャパシティがある場合、VMware DPM (Distributed Power Management) はホストをスタンバイ状態にして、SLA を満たしながら消費電力を抑制します。
- ワークフローの自動化。** vCenter Server には、強力なオーケストレーション エンジンである vCenter Orchestrator が含まれます。これにより管理者は、すぐに利用可能な組み込みのワークフローで 800 以上のタスクを自動化したり、ドラッグ アンド ドロップ操作が可能な使いやすいインターフェイスでワークフローを構築することで、管理を簡素化できます。
- vCenter Server の可用性。** サービス管理コンソールには vCenter コンポーネントの状態が表示され、管理者が管理インフラストラクチャ内の問題をすぐに確認し、修正することができます。VMware vCenter Server Heartbeat (別売ライセンス) は、すべての vCenter Server コンポーネントを詳細に認識し、管理サーバとデータベースを LAN または WAN 経由でスタンバイ サーバにフェイルオーバーすることで、可用性をさらに強化します。

スケーラビリティと拡張性

- 大規模環境の管理。** vCenter Server は、大規模な IT 環境に対応するように設計されています。vCenter Server 4.0 では、1 個のインスタンスで最大 300 台のホストと 3,000 台の仮想マシンを管理します。また、リンク モードでは単一のコンソールを使用して、10 個の vCenter Server インスタンスで最大 1,000 台のホストと 10,000 台の仮想マシンを管理できます。
- オープン アーキテクチャ。** vCenter API と .NET Extension は、vCenter Server とほかのツールの連携を可能にします。vSphere Client 用にカスタマイズされたプラグインがサポートされるため、既存の資産を活用し、環境の管理方法を自由に選択できます。

詳細情報

VMware 製品のご購入、または詳細情報については、弊社営業部門に電話 (03-4334-5600) またはメールでお問い合わせいただくか、次の製品 Web サイトをご覧ください。

www.vmware.com/jp/products

製品仕様およびシステム要件の詳細については、vCenter Server のインストールおよび構成に関するドキュメントを参照してください。



VMware, Inc. 3401 Hillview Ave Palo Alto CA 94304 USA Tel 877-486-9273 Fax 650-427-5001 www.vmware.com

VMware株式会社 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 13F Tel: 03-4334-5600 Fax: 03-4334-5601 www.vmware.com/jp

Copyright © 2009 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品は、米国および国際的な著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware の製品は、<http://www.vmware.com/go/patents> のリストに表示されている 1 つまたは複数の特許の対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。
アイテム No. : VMW_09Q1_DS_vCenterServ JP_A4_P2_R4